

Ⅱ-7

そういえば自分も・・・考えよう 認めよう  
～子どものいいところ・気になるところ～

対象：乳幼児をもつ保護者（学童期も可）  
時間：60分～80分程度

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども一人ひとりの個性や発達の様子には、違いがあることを理解し、それぞれの存在の大切さを再認識する。</li> <li>○ 子どものいいところ・気になるところのとりえ方は人（保護者）それぞれであることに気づき、幅広い見方で子どもに接することが大切であることを認識する。</li> </ul>		
実施のポイント（評価など）	○ 保護者同士が自分の子どもについていいところや気になっているところを自由に交流し合うことができるようにする。		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。（グループ編成は、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮する。）</li> <li>○ 筆記用具 ○ 付せん紙 ○ マジック ○ 模造紙 ○ 時計 ○ 記録用紙</li> <li>○ リフレーミングのワークシート</li> </ul>		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク （自己紹介）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな明るい雰囲気になるよう心掛ける。</li> <li>・ねらい・活動の流れ等について、ポイントを絞って説明する。</li> <li>・3つの約束を守るよう周知する。</li> <li>・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。 （例）今日これまでに起こったよいことを併せての自己紹介</li> <li>・状況により省略してもよい。</li> </ul>	3つの約束 掲示物
展開 5～10分	<b>ワーク1</b> 自分が子どもだった頃「いいところ」として褒められたこと「当時気にしていたところ」「直しなさいとよく注意されていたこと」を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ささいなことでもよいので、できるだけ具体的に書いてもらい、個々の個性に注目することをねらいとする。</li> <li>「いいところの例」 ・まじめ ・几帳面 ・人なつこい</li> <li>「気にしていたところの例」 ・一度でいうことが聞けない。・自分勝手な行動が多い。 ・人見知りが多い。・忘れ物が多い</li> </ul>	付せん紙 マジック 模造紙 ※進め方によりリフレーミングワークシート
15～20分	<b>ワーク2</b> 「当時気にしていたところ」「直しなさいと注意されていたこと」のとりえ方によりそうように話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「気にしていたところ」「直しなさいと注意されていたこと」を参加者同士で共有し、「気にしていたところ」「直しなさいと注意されていたところ」を「見方を変えてみれば」として意見交換し、見方を変えることで個々の個性を多面的にとらえることができることを実感することをねらいとする。</li> <li>例：（気が散る→好奇心が旺盛）、（人見知りが激しい→慎重さがある）</li> <li>・進行役を中心に自由に話し合う。</li> <li>・特定の人ばかりが発言するのではなく、できる限り多くの人が発言できるよう進行役は留意する。</li> </ul>	記録用紙
20～30分	<b>ワーク3</b> 子どもの成長を見つめるために必要な姿勢について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分たちのことを振り返った後に、今ある子どもの様子をまるごと認めてあげることの大切さ、子どもへの伝え方等について考える。子どもを肯定するような声かけや根気強くなかかわることなどを意識できることをねらいとする。</li> <li>・出てきた主な意見は、書記がメモをとる。</li> <li>・グループごとに出てきた主な意見を分類し、発表する。</li> <li>・意見が同じような内容に偏ることが予想されるので、進行役は、できる限り多様な意見が出されるよう参加者を促す。</li> <li>・一方で、重なる部分も多い意見については、多くの子どもがそうであるということを再認識する。</li> </ul>	
まとめ 5分	<b>ふりかえり</b> ・自分の考えをワークシートの「ふりかえり」に書き込む。 ・グループで感想を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎話し合いの中で出た話題について、印象に残ったことや思ったことをワークシートに書き込むことで活動を振り返り、自分自身の意識の変化や高まりに気づくことをねらいとする。</li> </ul>	
5分	<b>ま と め</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで出た意見について交流する。時間にあわせて、各テーブルの記録用紙を見て回る。</li> <li>・ファシリテーターから、交流の中でそれでも気になっていることや、心配に感じている子どもの情報については、学校をはじめとして、遠慮せずに相談することができる機関があることも知らせる。</li> </ul>	相談機関資料（総合相談センターチラシ）